

科目名	□技術者倫理		
担当教員	藤本 孝		
対象学年	3年	クラス	[102]
講義室	8205教室	開講学期	後期
曜日・時限	水4	単位区分	選択
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
講義概要/Class Outline	<p>さまざまな事例の分析をとおして技術者倫理の必要性を学ぶ、討論を交えて学生主体の講義運営を行う。</p> <p>(達成目標) 学生自らが技術者倫理の必要性を複数の事例を挙げて具体的に説明できるようにする</p>		
講義計画/Class Structure	回	内容	
	1	技術者倫理の視点 チャレンジャー号事故の分析	
	2	倫理と法 技術者の倫理規定について学ぶ	
	3	技術者倫理とコミュニケーション シティコタワーの事例分析	
	4	専門職の倫理 技術者倫理の特殊性について学ぶ	
	5	フォード Pinto 事件 倫理学の三理論について学ぶ	
	6	技術者倫理と企業倫理 三菱のリコール隠しについて考える	
	7	討議(エンジニアリングデザイン)(1) グループで討議、発表資料の作成	
	8	討議(エンジニアリングデザイン)(2) プレゼン	
	9	倫理的問題の解決策(1) 事実的問題、概念的問題、線引き問題	
	10	倫理的問題の解決策(2) ハインシのジレンマを扱う	
	11	内部告発(1) ギルベインゴールドの事例分析	
	12	内部告発(2) 公益通報者保護法について学ぶ	
	13	地球的視野を持つ技術者の倫理 プリジストン・ファイヤーストーンの事例分析	
	14	まとめ 技術者倫理の必要性の再確認	
学習・教育目標/Class Target	<p>学習・教育目標 (B)機械技術者として社会に負っている責任に関する理解力を身につける</p>		
評価基準/Grading Criteria	<p>評点(100点満点)のうち60点以上を合格とし、60点 - 69点を可(C)、70点 - 79点を良(B)、80点 - 89点を優(A)、90点 - 100点を秀(S)とする。ただし、03TM以前の受講者については80点 - 100点を優(A)とする。</p>		
評価方法/Grading Method	<p>レポート、試験、討論の参加等により総合的に評価する。</p>		
受講上の注意/Class Rules	<p>学生主体の講義運営を行うので積極的な発言が求められる。</p>		
受講制限/Prerequisite			
関連する科目/Related Class			
教科書/Text	著者名	藤本 孝 編著	
	著書名	技術者倫理の世界	
	出版社名	森北出版	
	ISBNコード	ISBN4-627-97301-2	
指定図書/Assigned Books			
参考文献/Bibliography	著者名	斉藤了文・坂下浩司 編	
	著書名	はじめての工学倫理第2版	
	出版社名	昭和堂	
	ISBNコード	ISBN978-4-8122-0507-5	